

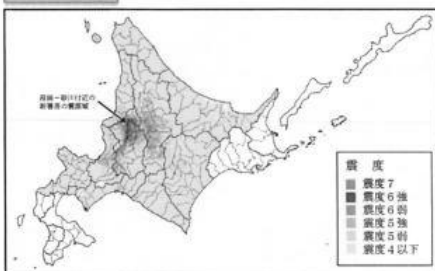
3 地震動による被害想定結果①～空知管内で人的被害が最大となる地震

■沼田～砂川付近の断層帯（モデル30_4）の地震（Mw6.9）※1

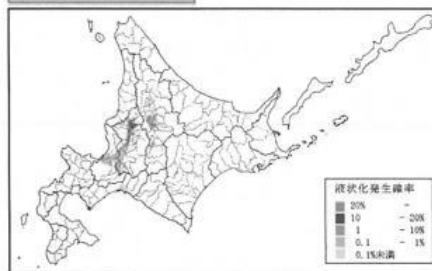
被害の概要（冬の早朝5時）（北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所・地質研究所作成）

被害想定項目	全道	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	樺山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
地震動	震度7(最大)	震度7	震度6弱	震度5強	震度5強	震度5弱	—	—	震度6強	震度6弱	震度5弱	震度5弱	震度6弱	—	—
液状化危険度	下図(液状化発生率分布)による														
急傾斜地崩壊危険度	下図(急傾斜地崩壊危険度分布)による														
建物被害	全壊棟数 8,499棟 半壊棟数 8,774棟 焼失棟数 35棟 [建物総棟数] [1,683,209棟]	8,371棟 7,112棟 29棟 [162,359棟]	4棟 160棟 1棟 [564,217棟]	1棟未満 1棟 0棟 [118,931棟]	1棟未満 2棟 1棟未満 [161,835棟]	1棟未満 1棟未満 0棟 [54,888棟]	—	—	120棟 1,486棟 6棟 [224,059棟]	1棟 12棟 1棟未満 [31,599棟]	0棟 0棟 0棟 [37,118棟]	0棟 0棟 0棟 [152,607棟]	1棟未満 1棟未満 0棟 [175,596棟]	—	—
火災被害	死者数 370人 重軽傷者数 1,098人 避難者数 69,843人 [総人口] [4,680,870人]	366人 768人 37,930人 [311,713人]	1人未満 1人未満 3,610人 [2,360,832人]	1人未満 1人未満 3人 [224,190人]	1人未満 1人未満 3人 [413,968人]	1人未満 1人未満 1人未満 [73,316人]	—	—	3人 286人 28,033人 [521,067人]	1人未満 2人 263人 [50,170人]	0棟 0棟 0棟 [68,153人]	0棟 0棟 0棟 [305,998人]	1人未満 1人未満 2人 [351,443人]	—	—
人的被害	上水道被害箇所数の割合 8.9kmの1箇所 [延長4,482km] 新入人口(1日) 198,448人 最大浸水日数 147日 下水道被害延長の割合 1.36% 機能支援人口 53,809人 最大浸水日数 21日 主要道路閉鎖区間の割合 33kmの1箇所 [延長11,042km] 交通施設被害 15m以上の橋脚の不 通・重大被害箇所 の割合 0.38% [総数10,944箇所]	1.4kmの1箇所 [延長5,690km] 85,043人 147日 5.45% 15,068人 21日 11.2kmの1箇所 [延長1,374km] 2.29% [総数1,555箇所]	64.1kmの1箇所 [延長8,920km] 12,776人 1日 0.84% 17,649人 2日 17.85kmの1箇所 [延長1,340km] 0.00% [総数1,216箇所]	80箇所 [延長3,729km] 0人 0日 0.21% 408人 1日 208.5kmの1箇所 [延長794km] 0.00% [総数673箇所]	80箇所 [延長3,729km] 0人 0日 0.60% 2,057人 2日 43.2kmの1箇所 [延長1,814km] 0.00% [総数900箇所]	80箇所 [延長3,729km] 0人 0日 0.14% 80人 1日 438kmの1箇所 [延長497km] 0.00% [総数404箇所]	—	—	10.5kmの1箇所 [延長5,139km] 99,540人 10日 3.21% 16,833人 7日 0.32% [総数1,938箇所]	100kmの1箇所 [延長1,102km] 1,069人 3日 1.17% 5,484人 5日 0.02% [総数547箇所]	100kmの1箇所 [延長2,103km] 0人 0日 0.00% 570箇所 0.00% [総数570箇所]	100kmの1箇所 [延長4,120km] 0人 0日 0.02% 79.3kmの1箇所 [延長1,679km] 0.00% [総数1,374箇所]	100kmの1箇所 [延長7,083km] 0人 0日 0.34% 1,117人 2日 0.00% [総数1,766箇所]	—	—

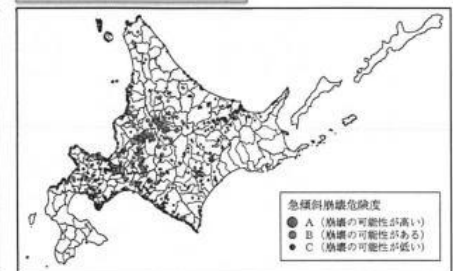
震度分布



液状化発生確率分布



急傾斜地崩壊危険度分布



注：この結果は、中央防災会議などの被害想定手法（過去の地震被害を基に設定した被害発生確率等による）により算定した概数であり、具体的な被害発生箇所を特定するものではありません。

※1 断層モデルは、断層の長さ、深さ、マグニチュード、傾き、破壊パターン等で設定しています。
 ※2 概略計算の結果からほとんど被害の想定されない地域は、計算対象外（表中は「—」）としています。
 ※3 当該地域の関係で表中の数値と合計は合わない場合があります。

※4 建物・人口の総数、上下水道・道路の総延長、機能支援人口は、市町村などの提供データに基づく合計値です。

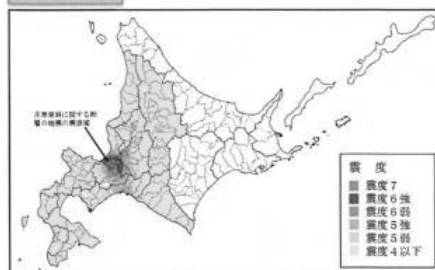
3 地震動による被害想定結果②～石狩管内で人的被害が最大となる地震

■月寒背斜に関する断層の地震（Mw6.76）※1

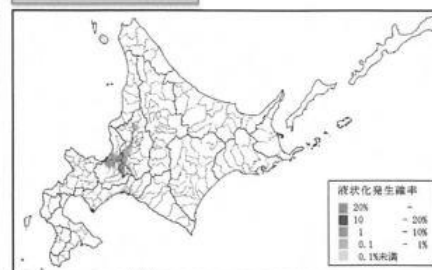
被害の概要（冬の早朝5時）（北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所・地質研究所作成）

被害想定項目	全道	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	樺山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	
地震動	震度7(最大)	震度6強	震度7	震度6弱	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度5弱	震度5強	震度5弱	—	—	—	—	—	
液状化危険度	下図(液状化発生確率分布)による															
急傾斜地崩壊危険度	下図(急傾斜地崩壊危険度分布)による															
建物被害	全壊棟数 22,982棟 半壊棟数 43,968棟 焼失棟数 537棟 [建物総棟数] [1,535,258棟]	334棟 1,709棟 1棟 [162,359棟]	22,634棟 42,160棟 1棟 [564,217棟]	7棟 26棟 1棟未満 [118,931棟]	7棟 73棟 1棟未満 [161,835棟]	1棟未満 1棟未満 1棟未満 [54,888棟]	1棟未満 1棟未満 0棟 [188,265棟]	1棟未満 1棟未満 0棟 [29,105棟]	1棟未満 1棟未満 0棟 [224,059棟]	1棟未満 1棟未満 0棟 [31,599棟]	—	—	—	—	—	—
火災被害	死者数 965人 重軽傷者数 18,806人 避難者数 488,501人 [総人口] [4,420,396人]	4人 229人 15,513人 [311,713人]	979人 18,543人 470,266人 [2,360,832人]	1人 9人 314人 [224,190人]	1人未満 25人 2,403人 [413,968人]	1人未満 0棟 2人 [73,316人]	0棟 1人未満 1人未満 [424,808人]	0棟 1人未満 1人未満 [40,312人]	0棟 1人未満 3人 [521,067人]	0棟 1人未満 1人未満 [50,170人]	—	—	—	—	—	—
人的被害	上水道被害箇所数の割合 新入人口(1日) 最大浸水日数 下水道被害延長の割合 機能支援人口 最大浸水日数 主要道路閉鎖区間の割合 交通施設被害	7.3kmの1箇所 [延長3,199km] 1,076,623人 39日 3.08% 165,484人 9日 26.8kmの1箇所 [延長8,530km] 0.91% [総数8,355箇所]	8.9kmの1箇所 [延長5,590km] 44,027人 39日 2.40% 7,368人 9日 17.7kmの1箇所 [延長1,374km] 0.56% [総数1,555箇所]	2.4kmの1箇所 [延長8,520km] 1,023,227人 24日 6.55% 149,883人 3日 9.9kmの1箇所 [延長1,340km] 5.50% [総数1,216箇所]	457.2kmの1箇所 [延長2,286km] 523人 1日 0.79% 1,575人 3日 43.5kmの1箇所 [延長794km] 0.01% [総数673箇所]	66.7kmの1箇所 [延長3,729km] 7人 0日 0.79% 8,825人 5日 19.7kmの1箇所 [延長1,814km] 0.03% [総数900箇所]	※1箇所未満 80箇所 [延長1,331km] 0人 0日 0.43% 242人 2日 142.6kmの1箇所 [延長497km] 0.00% [総数404箇所]	※1箇所未満 80箇所 [延長2,864km] 0人 0日 0.04% 175人 1日 204.2kmの1箇所 [延長1,030km] 0.00% [総数737箇所]	※1箇所未満 80箇所 [延長2,171km] 0人 0日 0.13% 36人 1日 503.8kmの1箇所 [延長347km] 0.00% [総数384箇所]	※1箇所未満 80箇所 [延長2,554km] 0人 0日 0.07% 358人 1日 208.9kmの1箇所 [延長380km] 0.00% [総数547箇所]	—	—	—	—	—	

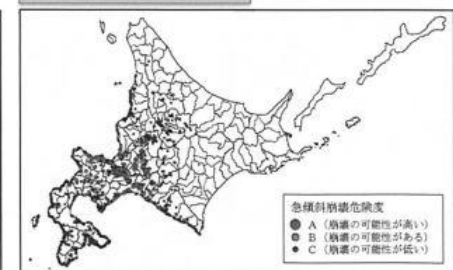
震度分布



液状化発生確率分布



急傾斜地崩壊危険度分布



注：この結果は、中央防災会議などの被害想定手法（過去の地震被害を基に設定した被害発生確率等による）により算定した概数であり、具体的な被害発生箇所を特定するものではありません。

※1 断層モデルは、断層の長さ、深さ、マグニチュード、傾き、破壊パターン等で設定しています。
 ※2 概略計算の結果からほとんど被害の想定されない地域は、計算対象外（表中は「—」）としています。
 ※3 当該地域の関係で表中の数値と合計は合わない場合があります。

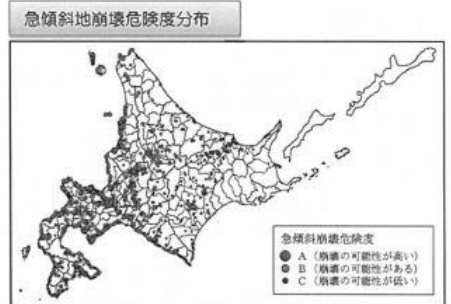
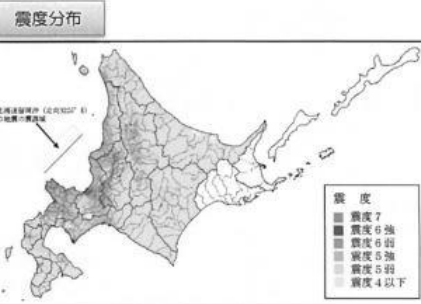
※4 建物・人口の総数、上下水道・道路の総延長、機能支援人口は、市町村などの提供データに基づく合計値です。

3 地震動による被害想定結果③～後志管内で人的被害が最大となる地震

■北海道留萌沖（走向N225° E、モデルNo.2）の地震（Mw7.8）※1

被害の概要（冬の早朝5時）（北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所・地質研究所作成）

被害想定項目	全道	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	樺山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	
地震動	震度7(最大)	震度6強	震度6強	震度7	震度6弱	震度5強	震度6弱	震度6弱	震度6弱	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5強	—	—	
液状化危険度	下図(液状化発生確率分布)による															
急傾斜地崩壊危険度	下図(急傾斜地崩壊危険度分布)による															
建物被害	全壊棟数 半壊棟数	2,798棟 16,595棟	206棟 1,841棟	1,560棟 9,588棟	819棟 3,617棟	43棟 301棟	1棟 3棟	15棟 110棟	7棟 52棟	13棟 226棟	131棟 836棟	1棟 18棟	1棟未満 2棟	1棟未満 1棟	—	—
火災被害	焼失棟数 [建物総棟数]	55棟 [1,900,579棟]	1棟未満 [162,359棟]	49棟 [564,217棟]	4棟 [118,931棟]	1棟未満 [161,835棟]	1棟未満 [54,888棟]	1棟未満 [188,265棟]	1棟未満 [29,105棟]	1棟未満 [224,059棟]	1棟未満 [31,599棟]	1棟未満 [37,118棟]	1棟未満 [152,607棟]	1棟未満 [175,596棟]	—	—
人的被害	死者数 重軽傷者数 避難者数 [総人口]	95人 3,993人 196,875人 [5,145,990人]	3人 218人 20,982人 [3,117,131人]	41人 2,853人 133,755人 [2,360,832人]	36人 623人 20,700人 [224,190人]	5人 96人 8,247人 [413,968人]	1人未満 1人 13人 [73,316人]	1人未満 1人 1,677人 [424,808人]	1人未満 1人 745人 [40,312人]	1人未満 1人未満 3,838人 [521,087人]	7人 133人 6,571人 [50,170人]	1人未満 1人未満 328人 [68,153人]	1人未満 1人未満 15人 [305,998人]	1人未満 1人未満 3人 [351,443人]	—	—
ライフライン被害	上下水道被害世帯数の割合 断水人口(1日) 最大断水日数 下水道管延長の割合 機能支援人口 最大支援日数	13.9kmの1箇所 [断水長43.329km] 583,406人 116日 2.23% [断水長24.371km] 110,145人 19日	6.9kmの1箇所 [断水長2.103km] 63,393人 44日 3.16% [断水長2.210km] 9,113人 12日	8.9kmの1箇所 [断水長2.377km] 38,422人 7日 2.88% [断水長1.340km] 61,057人 4日	3.7kmの1箇所 [断水長0.203km] 60,190人 45日 4.26% [断水長794km] 8,133人 12日	20.6kmの1箇所 [断水長1.726km] 30,554人 7日 2.80% [断水長1,181km] 10,924人 8日	8.1kmの1箇所 [断水長0.83%] 55人 1日 0.83% [断水長474km] 468人 3日	58.4kmの1箇所 [断水長2.964km] 5,361人 4日 1.29% [断水長2,339km] 4,715人 4日	19.1kmの1箇所 [断水長0.22%] 3,536人 33日 2.28% [断水長347km] 643人 7日	46.4kmの1箇所 [断水長2.203%] 1,327人 4日 2.03% [断水長2,549km] 9,721人 5日	4.2kmの1箇所 [断水長4.89%] 2,135人 116日 4.99% [断水長599km] 2,097人 19日	61.3kmの1箇所 [断水長1.41%] 56人 9日 1.41% [断水長458km] 840人 5日	81.9kmの1箇所 [断水長0.30%] 1人未満 1日 0.30% [断水長2,084km] 785人 1日	81.9kmの1箇所 [断水長0.51%] 1人未満 1日 0.51% [断水長2,269km] 1,650人 2日	—	—
交通施設被害	10%以上の道路の不通・通行制限の割合	18.4kmの1箇所 [割合12.419%] 0.44% [割合12.069%]	12.2kmの1箇所 [割合4.302%] 0.60% [割合1.555%]	10.5kmの1箇所 [割合1.374%] 1.47% [割合1.215%]	12.5kmの1箇所 [割合1.340%] 1.86% [割合0.733%]	13.7kmの1箇所 [割合1.181%] 0.27% [割合0.909%]	50kmの1箇所 [割合0.83%] 0.00% [割合4.94%]	20.4kmの1箇所 [割合2.864%] 0.04% [割合7.37%]	20.1kmの1箇所 [割合0.22%] 0.33% [割合3.84%]	19.3kmの1箇所 [割合2.203%] 0.21% [割合1.936%]	10.1kmの1箇所 [割合4.89%] 0.63% [割合5.47%]	19.2kmの1箇所 [割合1.41%] 0.08% [割合5.70%]	78.8kmの1箇所 [割合0.30%] 0.00% [割合1.374%]	58.2kmの1箇所 [割合0.51%] 0.00% [割合1.766%]	—	—



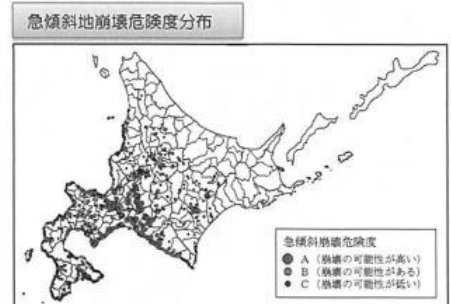
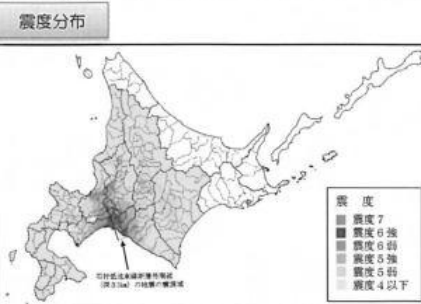
注：この結果は、中央防災会議などの被害想定手法（過去の地震被害を基に設定した被害発生確率等による）により算定した概数であり、具体的な被害発生箇所を特定するものではありません。
 ※1 断層モデルは、断層の長さ、深さ、マグニチュード、傾き、破壊パターン等で設定しています。
 ※2 概略計算の結果からほとんど被害の想定されない地域は、計算対象外（表中「—」）としています。
 ※3 道路距離の割合で表中の数値と合計は合わない場合があります。
 ※4 建物・人口の割合、上下水道・道路の延長率、機能支援率は、市町村などの提供データに基づく合計値です。

3 地震動による被害想定結果④～胆振管内で人的被害が最大となる地震

■石狩低地東縁断層帯南部（断層上端深さ3km、モデル30_3）の地震（Mw7.16）※1

被害の概要（冬の早朝5時）（北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所・地質研究所作成）

被害想定項目	全道	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	樺山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	
地震動	震度7(最大)	震度6強	震度6強	震度5強	震度7	震度7	震度5強	震度5弱	震度6弱	震度5弱	—	—	震度5強	—	—	
液状化危険度	下図(液状化発生確率分布)による															
急傾斜地崩壊危険度	下図(急傾斜地崩壊危険度分布)による															
建物の被害	全壊棟数	2,500棟	164棟	264棟	5棟	1,711棟	354棟	1棟未満	1棟未満	1棟	1棟未満	—	—	1棟未満	—	
	半壊棟数	7,843棟	1,170棟	2,930棟	23棟	2,906棟	794棟	1棟	1棟未満	18棟	1棟未満	—	—	1棟	—	
	火災被害	焼失棟数	14棟	1棟未満	2棟	1棟未満	11棟	1棟未満	1棟未満	0棟	1棟未満	0棟	—	—	1棟未満	—
	[建物総棟数]	[1,710,854棟]	[162,359棟]	[564,217棟]	[118,931棟]	[161,835棟]	[54,888棟]	[188,265棟]	[29,105棟]	[224,059棟]	[31,599棟]	—	—	[175,596棟]	—	
人的被害	死者数	75人	3人	6人	1人未満	58人	6人	1人未満	1人未満	1人未満	1人未満	—	—	1人未満	—	
	重軽傷者数	1,853人	159人	841人	8人	705人	134人	1人未満	1人未満	4人	1人未満	—	—	1人未満	—	
	避難者数	115,613人	12,853人	65,331人	225人	31,922人	4,614人	5人	1人未満	660人	1人未満	—	—	2人	—	
	[総人口]	[4,771,839人]	[3,117,131人]	[2,360,832人]	[224,190人]	[413,968人]	[73,316人]	[424,808人]	[40,312人]	[521,087人]	[50,170人]	—	—	[351,443人]	—	
ライフライン被害	上下水道被害世帯数の割合	10.9kmの1箇所 [断水長3.079km]	9.9kmの1箇所 [断水長5.690km]	12.8kmの1箇所 [断水長5.022km]	452.7kmの1箇所 [断水長2.389km]	1.9kmの1箇所 [断水長0.729km]	2.7kmの1箇所 [断水長1.331km]	81.9kmの1箇所 [断水長2.864km]	60.9kmの1箇所 [断水長0.36%]	223.5kmの1箇所 [断水長2.554%]	80.9kmの1箇所 [断水長1.102%]	—	—	81.9kmの1箇所 [断水長0.36%]	—	
	断水人口(1日)	362,666人	39,425人	212,468人	999人	92,047人	14,898人	11人	0人	2,817人	0人	—	—	1人未満	—	
	最大断水日数	84日	35日	5日	1日	62日	84日	1日	0日	1日	0日	—	—	1日	—	
	下水道管延長の割合	2.03% [断水長21.829km]	2.30% [断水長2.103km]	2.47% [断水長1.374km]	0.84% [断水長1.203km]	4.89% [断水長2,900km]	4.80% [断水長4,744km]	0.19% [断水長2,339m]	0.36% [断水長2,179km]	0.71% [断水長2,554km]	0.31% [断水長2,993m]	—	—	0.52% [断水長2,693m]	—	
交通施設被害	機能支援人口	84,842人	6,667人	50,470人	1,631人	17,123人	2,544人	621人	97人	3,653人	156人	—	—	1,679人	—	
	最大支援日数	17日	9日	4日	3日	13日	17日	1日	1日	2日	2日	—	—	2日	—	
	主要幹線道路の割合	23kmの1箇所 [割合10.205%]	14.9kmの1箇所 [割合4.302%]	11.2kmの1箇所 [割合1.340%]	36.9kmの1箇所 [割合1.374%]	11.1kmの1箇所 [割合1.181%]	10.7kmの1箇所 [割合0.83%]	74.1kmの1箇所 [割合2.864%]	179.6kmの1箇所 [割合0.22%]	63.7kmの1箇所 [割合2.203%]	125.5kmの1箇所 [割合4.89%]	19.2kmの1箇所 [割合1.41%]	—	57.6kmの1箇所 [割合0.51%]	—	
	10%以上の道路の不通・通行制限の割合	0.42% [割合10.12%]	0.51% [割合1.555%]	0.91% [割合1.215%]	0.00% [割合0.733%]	2.45% [割合0.909%]	0.64% [割合4.94%]	0.00% [割合7.37%]	0.00% [割合3.84%]	0.00% [割合1.936%]	0.00% [割合5.47%]	0.00% [割合5.70%]	—	0.00% [割合1.766%]	—	



注：この結果は、中央防災会議などの被害想定手法（過去の地震被害を基に設定した被害発生確率等による）により算定した概数であり、具体的な被害発生箇所を特定するものではありません。
 ※1 断層モデルは、断層の長さ、深さ、マグニチュード、傾き、破壊パターン等で設定しています。
 ※2 概略計算の結果からほとんど被害の想定されない地域は、計算対象外（表中「—」）としています。
 ※3 道路距離の割合で表中の数値と合計は合わない場合があります。
 ※4 建物・人口の割合、上下水道・道路の延長率、機能支援率は、市町村などの提供データに基づく合計値です。

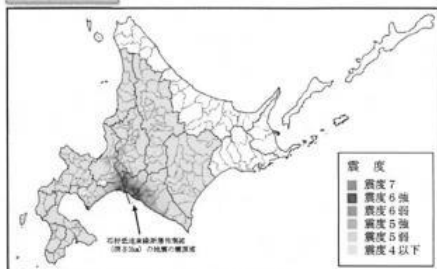
3 地震動による被害想定結果⑤～日高管内で人的被害が最大となる地震

■石狩低地東縁断層帯南部（断層上端深さ3km、モデル30_2）の地震（Mw7.16）※1

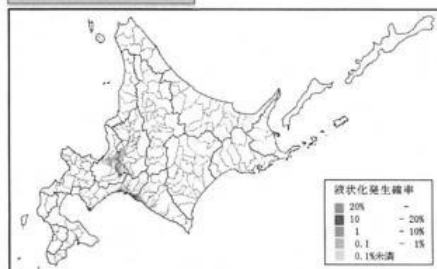
被害の概要（冬の早朝5時）（北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所・地質研究所作成）

被害想定項目	全道	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	樺山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
地震動	震度7(最大)	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度7	震度7	震度5強	震度5弱	震度5弱	震度5弱	—	—	震度5弱	—	—
液状化危険度	下図(液状化発生確率分布)による														
急傾斜地崩壊危険度	下図(急傾斜地崩壊危険度分布)による														
建物被害	全壊棟数 1,666棟 半壊棟数 3,504棟	7棟 76棟	9棟 108棟	1棟未満 1棟未満	1,161棟 2,156棟	489棟 1,161棟	1棟未満 2棟	1棟未満 1棟未満	1棟未満 1棟未満	0棟 0棟	— —	— —	1棟未満 1棟未満	— —	— —
火災被害	焼失棟数 6棟 [建物総棟数] [1,710,854棟]	1棟未満 [162,359棟]	1棟未満 [564,217棟]	0棟 [118,931棟]	5棟 [161,835棟]	1棟 [54,888棟]	1棟未満 [188,265棟]	0棟 [29,105棟]	0棟 [224,059棟]	0棟 [31,599棟]	— —	— —	0棟 [175,596棟]	— —	— —
人的被害	死者数 36人 重軽傷者数 726人 避難者数 36,531人 [総人口] [4,771,839人]	1人未満 9人 987人 [311,713人]	1人未満 39人 5,030人 [2,360,832人]	1人未満 1人未満 1人未満 [224,190人]	27人 478人 23,667人 [413,968人]	9人 199人 6,835人 [73,316人]	1人未満 1人未満 12人 [424,808人]	1人未満 1人未満 1人未満 [40,312人]	1人未満 1人未満 1人未満 [521,087人]	0棟 0棟 0棟 [50,170人]	— — — [351,443人]	— — — —	1人未満 1人未満 1人未満 —	— — — —	— — — —
ライフライン被害	上水道被害箇所数割合 10.6km ² の1箇所 [延長35.07km]	9.6km ² の1箇所 [延長5.69km]	14.4km ² の1箇所 [延長8.02km]	30.0km ² の1箇所 [延長2.38km]	2.4km ² の1箇所 [延長0.72km]	1.9km ² の1箇所 [延長1.33km]	1.9km ² の1箇所 [延長2.95km]	30.0km ² の1箇所 [延長5.13km]	30.0km ² の1箇所 [延長1.10km]	30.0km ² の1箇所 [延長2.29km]	— —	— —	30.0km ² の1箇所 [延長7.08km]	— —	— —
	断水人口(1日) 107,014人 最大復旧日数 121日	2,928人 4日	13,154人 1日	0人 0日	68,881人 5日	22,014人 12日	37人 1日	0人 0日	0人 0日	0人 0日	— —	— —	0人 0日	— —	— —
	下水道被害箇所数割合 1.17% [延長21.82km]	0.74% [延長1.37km]	0.92% [延長1.34km]	0.06% [延長1.20km]	4.11% [延長2.90km]	6.31% [延長4.74km]	0.70% [延長2.33km]	0.12% [延長2.55km]	0.04% [延長2.54km]	0.00% [延長380km]	— —	— —	0.16% [延長2.26km]	— —	— —
	橋梁支障人口 40,810人 最大復旧日数 22日	2,218人 3日	17,506人 2日	190人 1日	14,116人 11日	3,491人 22日	2,572人 2日	29人 1日	212人 1日	0人 0日	— —	— —	474人 1日	— —	— —
交通施設被害	主要道路閉鎖箇所数割合 36.6km ² の1箇所 [延長10,209km]	31.3km ² の1箇所 [延長1,374km]	19.9km ² の1箇所 [延長1,340km]	39.0km ² の1箇所 [延長794km]	12.4km ² の1箇所 [延長1.18km]	14.9km ² の1箇所 [延長1.03km]	55.7km ² の1箇所 [延長1,030km]	31.1km ² の1箇所 [延長347km]	91.9km ² の1箇所 [延長1,586km]	30.0km ² の1箇所 [延長380km]	— —	— —	156.7km ² の1箇所 [延長1,675km]	— —	— —
	15m以上の橋脚の不 通・通行制限箇所 の割合 0.24% [延長10.12箇所]	0.09% [延長1,566箇所]	0.06% [延長1,216箇所]	0.00% [延長673箇所]	1.97% [延長809箇所]	4.41% [延長737箇所]	0.00% [延長737箇所]	0.00% [延長384箇所]	0.00% [延長1,038箇所]	0.00% [延長547箇所]	— —	— —	0.00% [延長1,766箇所]	— —	— —

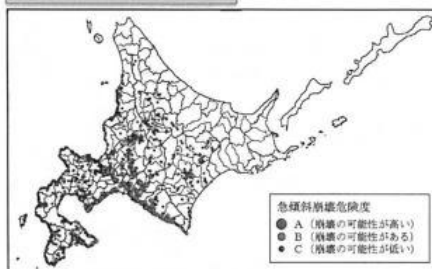
震度分布



液状化発生確率分布



急傾斜地崩壊危険度分布



注：この結果は、中央防災会議などの被害想定手法（過去の地震被害を基に設定した被害発生確率等による）により算定した概数であり、具体的な被害発生箇所を特定するものではありません。

※1 断層モデルは、断層の長さ、深さ、マグニチュード、傾き、破壊パターン等で設定しています。
※2 概略計算の結果からほとんど被害の想定されない地域は、計算対象外（表中は「—」）としています。
※3 道路閉鎖の箇所数で表中の数値と合計は合わない場合があります。
※4 建物・人口の総数、上下水道・道路の総延長、橋梁総数は、市町村などからの提供データに基づく合計値です。

3 地震動による被害想定結果⑥～渡島管内で人的被害が最大となる地震

■函館平野西縁断層帯（モデル45_3）の地震（Mw6.6）※1

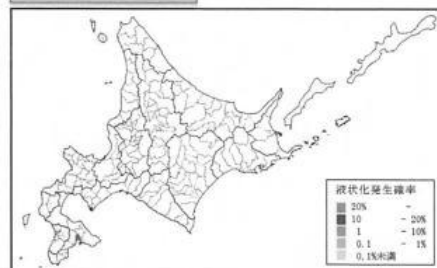
被害の概要（冬の早朝5時）（北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所・地質研究所作成）

被害想定項目	全道	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	樺山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
地震動	震度7(最大)	—	—	震度5弱	震度5弱	—	震度7	震度6弱	—	—	—	—	—	—	—
液状化危険度	下図(液状化発生確率分布)による														
急傾斜地崩壊危険度	下図(急傾斜地崩壊危険度分布)による														
建物被害	全壊棟数 1,843棟 半壊棟数 3,396棟	— —	— —	1棟未満 1棟未満	1棟未満 1棟未満	— —	1,835棟 3,364棟	8棟 31棟	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
火災被害	焼失棟数 28棟 [建物総棟数] [498,136棟]	— —	— —	0棟 [118,931棟]	1棟未満 [161,835棟]	— —	35人 [188,265棟]	1人 [29,105棟]	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
人的被害	死者数 36人 重軽傷者数 645人 避難者数 31,214人 [総人口] [1,103,278人]	— — — —	— — — —	1人未満 1人未満 1人未満 [224,190人]	1人未満 1人未満 2人 [413,968人]	— — — —	35人 [424,808人]	1人 [40,312人]	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —
ライフライン被害	上水道被害箇所数割合 11.4km ² の1箇所 [延長9.93km]	— —	— —	30.0km ² の1箇所 [延長2.38km]	30.0km ² の1箇所 [延長2.90km]	— —	3.4km ² の1箇所 [延長2.80km]	23.1km ² の1箇所 [延長95.9km]	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	断水人口(1日) 85,977人 最大復旧日数 36日	— —	— —	0人 0日	1人未満 1日	— —	82,389人 36日	3,588人 16日	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	下水道被害箇所数割合 2.17% [延長6.65km]	— —	— —	0.00% [延長1.20km]	0.46% [延長2.90km]	— —	5.46% [延長2.33km]	1.77% [延長2.17km]	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	橋梁支障人口 23,283人 最大復旧日数 16日	— —	— —	0人 0日	2,023人 2日	— —	20,786人 16日	475人 5日	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
交通施設被害	主要道路閉鎖箇所数割合 36.9km ² の1箇所 [延長3,353km]	— —	— —	31.1km ² の1箇所 [延長794km]	111.5km ² の1箇所 [延長1,181km]	— —	15.6km ² の1箇所 [延長1,030km]	24.6km ² の1箇所 [延長347km]	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	15m以上の橋脚の不 通・通行制限箇所 の割合 0.47% [延長2,603箇所]	— —	— —	0.00% [延長673箇所]	0.00% [延長809箇所]	— —	1.56% [延長737箇所]	0.22% [延長384箇所]	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

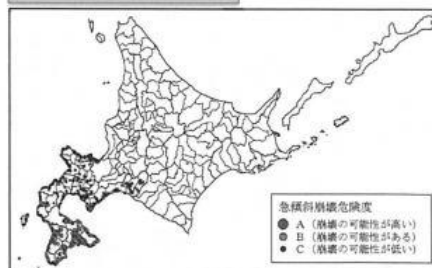
震度分布



液状化発生確率分布



急傾斜地崩壊危険度分布



注：この結果は、中央防災会議などの被害想定手法（過去の地震被害を基に設定した被害発生確率等による）により算定した概数であり、具体的な被害発生箇所を特定するものではありません。

※1 断層モデルは、断層の長さ、深さ、マグニチュード、傾き、破壊パターン等で設定しています。
※2 概略計算の結果からほとんど被害の想定されない地域は、計算対象外（表中は「—」）としています。
※3 道路閉鎖の箇所数で表中の数値と合計は合わない場合があります。
※4 建物・人口の総数、上下水道・道路の総延長、橋梁総数は、市町村などからの提供データに基づく合計値です。

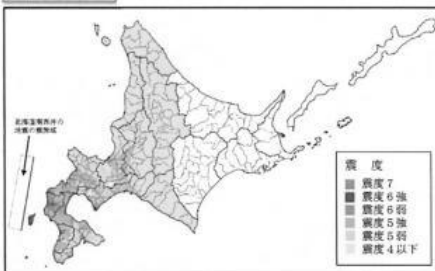
3 地震動による被害想定結果⑦～檜山管内で人的被害が最大となる地震

■北海道南西沖（モデルNo.2）の地震（Mw8.0）※1

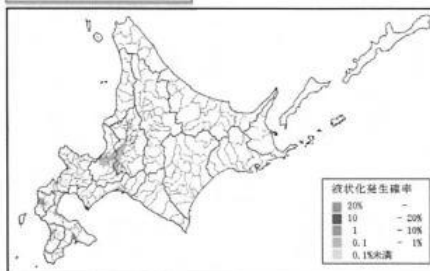
被害の概要（冬の早朝5時）（北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所・地質研究所作成）

被害想定項目	全道	空知	石狩	後志	釧路	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
地震動	震度7(最大)	震度5強	震度6弱	震度6強	震度6弱	震度5強	震度6強	震度7	震度5弱	震度5弱	震度5弱	—	—	—	—
液状化危険度	下図(液状化発生確率分布)による														
急傾斜地崩壊危険度	下図(急傾斜地崩壊危険度分布)による														
建物被害	全壊棟数 1,120棟	2棟	33棟	69棟	67棟	1棟	181棟	767棟	1棟未満	1棟未満	1棟未満	—	—	—	—
	半壊棟数 4,364棟	54棟	710棟	497棟	368棟	3棟	918棟	1,815棟	1棟未満	1棟未満	1棟未満	—	—	—	—
火災被害	焼失棟数 3棟	1棟未満	1棟未満	1棟未満	1棟未満	1棟未満	1棟未満	2棟	0棟	0棟	0棟	—	—	—	—
	[建物総棟数] [1,572,376棟]	[162,359棟]	[564,217棟]	[118,931棟]	[161,835棟]	[54,888棟]	[188,265棟]	[29,105棟]	[224,059棟]	[31,599棟]	[37,118棟]	—	—	—	—
人的被害	死者数 47人	1人未満	2人	7人	8人	1人未満	12人	18人	0人	1人未満	1人未満	—	—	—	—
	重軽傷者数 899人	6人	197人	99人	121人	1人	184人	291人	0人	1人未満	1人未満	—	—	—	—
	避難者数 51,070人	986人	14,903人	5,883人	8,476人	11人	12,710人	8,101人	1人未満	1人未満	1人未満	—	—	—	—
	[総人口] [4,488,549人]	[311,713人]	[2,360,832人]	[224,190人]	[413,968人]	[73,316人]	[424,808人]	[40,312人]	[521,087人]	[50,170人]	[68,153人]	—	—	—	—
ライフライン被害	上下水道被害箇所割合 21.2m/9.1箇所 [総延長34,096km]	130.2m/9.1箇所 [総延長34,096km]	58.8m/9.1箇所 [総延長34,096km]	19m/9.1箇所 [総延長34,096km]	21.9m/9.1箇所 [総延長34,096km]	8.9m/9.1箇所 [総延長34,096km]	1.3m/9.1箇所 [総延長34,096km]	1.3m/9.1箇所 [総延長34,096km]	0.0箇所 [総延長34,096km]	0.0箇所 [総延長34,096km]	0.0箇所 [総延長34,096km]	—	—	—	—
	最大復旧日数 494日	3日	1日	12日	6日	1日	18日	494日	0日	0日	0日	—	—	—	—
	下水道被害延長の割合 -59% [総延長20,029km]	0.94% [総延長21,374km]	1.48% [総延長7,377km]	1.85% [総延長2,900km]	2.54% [総延長4,744km]	0.77% [総延長2,336km]	2.88% [総延長2,336km]	7.93% [総延長2,336km]	0.10% [総延長2,336km]	0.53% [総延長2,336km]	0.17% [総延長2,336km]	—	—	—	—
	機能支障人口 61,732人	2,797人	30,757人	3,500人	10,645人	465人	10,627人	2,183人	404人	231人	124人	—	—	—	—
	最大復旧日数 23日	4日	2日	5日	7日	3日	8日	23日	1日	2日	1日	—	—	—	—
交通施設被害	主要道路閉鎖箇所割合 22.3m/9.1箇所 [総延長9,244km]	28.9m/9.1箇所 [総延長1,374km]	14.9m/9.1箇所 [総延長1,340km]	15.2m/9.1箇所 [総延長794km]	14.9m/9.1箇所 [総延長1,181km]	5.7m/9.1箇所 [総延長497km]	12.8m/9.1箇所 [総延長1,030km]	9.7m/9.1箇所 [総延長347km]	283.9m/9.1箇所 [総延長1,589km]	57.9m/9.1箇所 [総延長380km]	132.7m/9.1箇所 [総延長714km]	—	—	—	—
	沿線以上の閉鎖の不 通・通行困難箇所 の割合 0.28% [総延長9,229km]	0.00% [総延長1,599km]	0.09% [総延長1,218km]	0.58% [総延長773km]	0.24% [総延長509km]	0.00% [総延長494km]	0.63% [総延長737km]	3.56% [総延長384km]	0.00% [総延長1,938km]	0.00% [総延長547km]	0.00% [総延長570km]	—	—	—	—

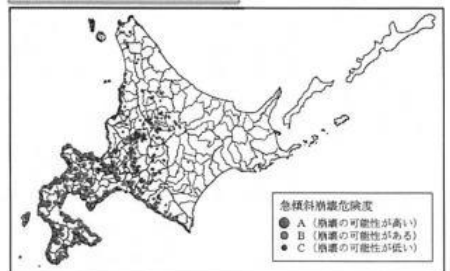
震度分布



液状化発生確率分布



急傾斜地崩壊危険度分布



注：この結果は、中央防災会議などの被害想定手法（過去の地震被害を基に設定した被害発生確率等による）により算出した概数であり、具体的な被害発生箇所を特定するものではありません。
 ※1 断層モデルは、断層の長さ、深さ、マグニチュード、傾き、破壊パターン等で設定しています。
 ※2 概略計算の結果からほとんど被害の想定されない地域は、計算対象外（表中は「—」）としています。
 ※3 道路閉鎖の箇所数で表中の数値と合計は合わない場合があります。
 ※4 建物・人口の総数、上下水道・道路の総延長、機能総数は、市町村などの提供データに基づく合計値です。

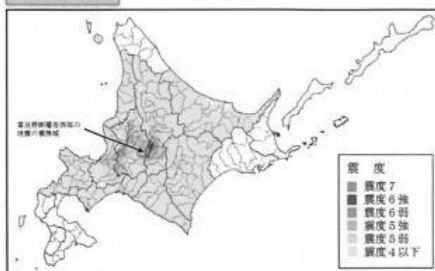
3 地震動による被害想定結果⑧～上川管内で人的被害が最大となる地震

■富良野断層帯西部（モデル45_3）の地震（Mw6.7）※1

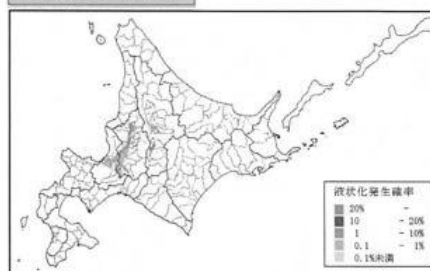
被害の概要（冬の早朝5時）（北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所・地質研究所作成）

被害想定項目	全道	空知	石狩	後志	釧路	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
地震動	震度7(最大)	震度6強	震度6弱	震度5弱	震度5強	震度5弱	—	—	震度7	震度5強	—	震度4以下	震度5強	—	—
液状化危険度	下図(液状化発生確率分布)による														
急傾斜地崩壊危険度	下図(急傾斜地崩壊危険度分布)による														
建物被害	全壊棟数 1,356棟	31棟	3棟	1棟未満	1棟未満	1棟未満	—	—	1,322棟	1棟未満	—	0棟	1棟未満	—	—
	半壊棟数 2,413棟	405棟	114棟	1棟未満	1棟未満	1棟未満	—	—	1,892棟	1棟未満	—	0棟	1棟未満	—	—
火災被害	焼失棟数 11棟	1棟未満	1棟未満	0棟	1棟未満	0棟	—	—	11棟	0棟	—	0棟	0棟	—	—
	[建物総棟数] [1,646,091棟]	[162,359棟]	[564,217棟]	[118,931棟]	[161,835棟]	[54,888棟]	—	—	[224,059棟]	[31,599棟]	—	[152,607棟]	[175,596棟]	—	—
人的被害	死者数 47人	1人	1人未満	1人未満	1人未満	1人未満	—	—	46人	1人未満	—	0人	1人未満	—	—
	重軽傷者数 598人	55人	25人	1人未満	1人未満	1人未満	—	—	518人	1人未満	—	0人	1人未満	—	—
	避難者数 21,658人	6,952人	2,485人	1人未満	1人未満	2人	—	—	12,216人	1人未満	—	0人	1人未満	—	—
	[総人口] [4,612,717人]	[311,713人]	[2,360,832人]	[224,190人]	[413,968人]	[73,316人]	—	—	[521,087人]	[50,170人]	—	[305,998人]	[351,443人]	—	—
ライフライン被害	上下水道被害箇所割合 31.4m/9.1箇所 [総延長39,380km]	22.2m/9.1箇所 [総延長5,690km]	203.8m/9.1箇所 [総延長8,029km]	8.0箇所 [総延長8,029km]	8.1箇所未満 [総延長1,331km]	8.0箇所 [総延長1,331km]	—	—	5.4m/9.1箇所 [総延長5,139km]	8.0箇所 [総延長1,102km]	—	8.0箇所 [総延長1,102km]	8.0箇所 [総延長1,102km]	—	—
	最大復旧日数 16日	15日	1日	0日	1日	0日	—	—	16日	0日	—	0日	0日	—	—
	下水道被害延長の割合 0.79% [総延長21,359km]	2.26% [総延長21,359km]	0.81% [総延長7,377km]	0.13% [総延長2,900km]	0.44% [総延長4,744km]	0.11% [総延長2,336km]	—	—	1.33% [総延長2,336km]	0.31% [総延長2,336km]	—	0.00% [総延長2,336km]	0.21% [総延長2,263km]	—	—
	機能支障人口 33,569人	8,231人	16,998人	258人	1,431人	62人	—	—	7,797人	163人	—	0人	627人	—	—
	最大復旧日数 9日	9日	2日	1日	2日	1日	—	—	4日	2日	—	0日	1日	—	—
交通施設被害	主要道路閉鎖箇所割合 42.3m/9.1箇所 [総延長10,327km]	14.7m/9.1箇所 [総延長1,374km]	18.5m/9.1箇所 [総延長1,340km]	329.1m/9.1箇所 [総延長794km]	48.3m/9.1箇所 [総延長1,181km]	※1箇所未満 [総延長497km]	—	—	49.6m/9.1箇所 [総延長1,589km]	104.6m/9.1箇所 [総延長380km]	—	※2箇所 [総延長1,099km]	※3箇所 [総延長1,675km]	—	—
	沿線以上の閉鎖の不 通・通行困難箇所 の割合 0.18% [総延長10,374km]	0.27% [総延長1,555km]	0.00% [総延長1,218km]	0.00% [総延長773km]	0.00% [総延長509km]	0.00% [総延長494km]	—	—	0.74% [総延長1,938km]	0.00% [総延長547km]	—	0.00% [総延長1,374km]	0.00% [総延長1,766km]	—	—

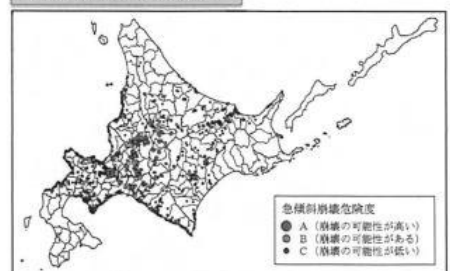
震度分布



液状化発生確率分布



急傾斜地崩壊危険度分布



注：この結果は、中央防災会議などの被害想定手法（過去の地震被害を基に設定した被害発生確率等による）により算出した概数であり、具体的な被害発生箇所を特定するものではありません。
 ※1 断層モデルは、断層の長さ、深さ、マグニチュード、傾き、破壊パターン等で設定しています。
 ※2 概略計算の結果からほとんど被害の想定されない地域は、計算対象外（表中は「—」）としています。
 ※3 道路閉鎖の箇所数で表中の数値と合計は合わない場合があります。
 ※4 建物・人口の総数、上下水道・道路の総延長、機能総数は、市町村などの提供データに基づく合計値です。

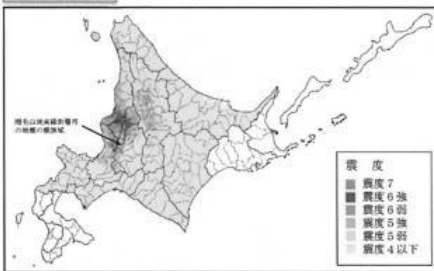
3 地震動による被害想定結果⑨～留萌管内で人的被害が最大となる地震

■増毛山地東縁断層帯（モデル30_2）の地震（Mw7.2）※1

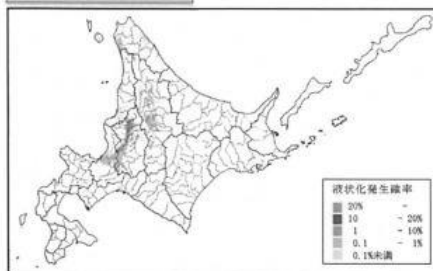
被害の概要（冬の早朝5時）（北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所・地質研究所作成）

被害想定項目	全道	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	樺山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
地震動	震度7(最大)	震度7	震度6強	震度5強	震度5弱	震度5弱	震度5弱	震度5弱	震度6強	震度7	震度5強	震度5強	震度5強	震度5強	震度5強
液状化危険度	下図(液状化発生確率分布)による														
急傾斜地崩壊危険度	下図(急傾斜地崩壊危険度分布)による														
建物被害	全壊棟数 半壊棟数	2,831棟 7,559棟	1,807棟 4,599棟	9棟 170棟	1棟未満 1棟	1棟未満 1棟	0棟 0棟	0棟 0棟	23棟 482棟	991棟 2,306棟	1棟未満 1棟未満	1棟未満 1棟未満	0棟 0棟	0棟 0棟	0棟 0棟
火災被害	焼失棟数	11棟	5棟	1棟未満	0棟	0棟	0棟	0棟	1棟未満	6棟	1棟未満	1棟未満	0棟	0棟	0棟
人的被害	死者数 重軽傷者数 避難者数	49人 1,130人 48,031人	24人 504人 24,567人	1人未満 1人未満 3,381人	1人未満 1人未満 3人	1人未満 1人未満 1人未満	0棟 0棟 0棟	0棟 0棟 0棟	1人未満 79人 10,230人	24人 424人 9,840人	1人未満 1人未満 7人	1人未満 1人未満 3人	0棟 0棟 0棟	0棟 0棟 0棟	0棟 0棟 0棟
ライフライン被害	上水道被害箇所数 の割合 断水人口(1日) 最大断水日数 下水道管延長の割合 断水人口 最大断水日数	17.1km/9.1箇所 [断水長41.482km] 136,217人 199日 1.01% [断水長21.819km] 40,581人 23日	3.9km/9.1箇所 [断水長5.993km] 64,299人 70日 3.65% [断水長22.103km] 10,150人 14日	17.1km/9.1箇所 [断水長7.377km] 9,643人 1日 0.78% [断水長1.340km] 16,462人 2日	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0人 0日 0.22% [断水長1.203km] 422人 1日	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0人 0日 0.22% [断水長1.203km] 801人 1日	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0人 0日 0.22% [断水長1.203km] 6人 1日	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0人 0日 0.22% [断水長1.203km] 0人 0日	2.9km/9.1箇所 [断水長5.139km] 36,731人 25,511人 1.95% [断水長2.554km] 9,406人 5日	2.9km/9.1箇所 [断水長5.139km] 50,170人 50,170人 5.70% [断水長2.554km] 2,767人 23日	2.9km/9.1箇所 [断水長5.139km] 68,153人 68,153人 6.33% [断水長2.554km] 330人 2日	2.9km/9.1箇所 [断水長5.139km] 305,998人 305,998人 0.63% [断水長2.554km] 236人 1日	2.9km/9.1箇所 [断水長5.139km] 351,443人 351,443人 0.00% [断水長2.554km] 0人 0日	2.9km/9.1箇所 [断水長5.139km] 0人 0日 0.00% [断水長2.554km] 0人 0日	2.9km/9.1箇所 [断水長5.139km] 0人 0日 0.00% [断水長2.554km] 0人 0日
交通施設被害	主要道路閉鎖箇所 の割合 1次以上道路の不通・通行困難箇所 の割合	31.9km/9.1箇所 [断水長11.042km] 0.37% [断水長10.944箇所]	12.9km/9.1箇所 [断水長1.374km] 1.70% [断水長1.555箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.12% [断水長1.218箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.773箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.909箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]

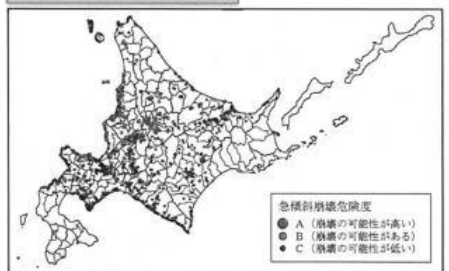
震度分布



液状化発生確率分布



急傾斜地崩壊危険度分布



注：この結果は、中央防災会議などの被害想定手法（過去の地震被害を基に設定した被害発生確率等による）により算出した概数であり、具体的な被害発生箇所を特定するものではありません。

※1 断層モデルは、断層の長さ、深さ、マグニチュード、傾き、破壊パターン等で設定しています。

※2 概略計算の結果からほとんど被害の想定されない地域は、計算対象外（表中は「—」）としています。

※3 道路閉鎖の割合で表中の数値と合計は合わない場合があります。

※4 建物・人口の総数、上下水道・道路の延長、橋梁総数は、市町村などからの提供データに基づく合計数です。

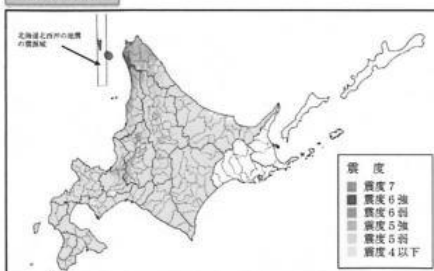
3 地震動による被害想定結果⑩～宗谷管内で人的被害が最大となる地震

■北海道北西沖の地震（モデルNo.2）の地震（Mw7.8）※1

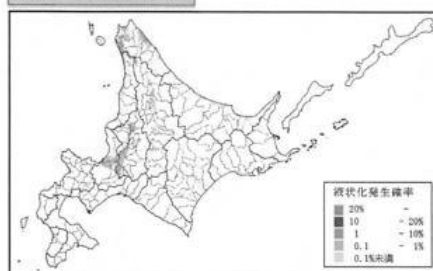
被害の概要（冬の早朝5時）（北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所・地質研究所作成）

被害想定項目	全道	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	樺山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
地震動	震度7(最大)	震度5強	震度5強	震度5強	震度5弱	震度5弱	震度5弱	震度5弱	震度6強	震度6強	震度7	震度5強	震度5弱	震度5弱	震度5弱
液状化危険度	下図(液状化発生確率分布)による														
急傾斜地崩壊危険度	下図(急傾斜地崩壊危険度分布)による														
建物被害	全壊棟数 半壊棟数	2,358棟 2,605棟	2棟 50棟	3棟 119棟	4棟 12棟	1棟未満 1棟未満	1棟未満 1棟未満	1棟未満 1棟未満	1棟未満 1棟未満	4棟 65棟	64棟 419棟	2,280棟 1,935棟	1棟未満 4棟	1棟未満 1棟未満	0棟 0棟
火災被害	焼失棟数	4棟	1棟未満	1棟未満	1棟未満	0棟	0棟	0棟	0棟	1棟未満	1棟未満	4棟	1棟未満	0棟	0棟
人的被害	死者数 重軽傷者数 避難者数	106人 381人 17,792人	1人未満 5人 845人	1人未満 33人 2,181人	1人未満 5人 58人	1人未満 1人未満 1人	1人未満 1人未満 1人	1人未満 1人未満 1人	1人未満 1人未満 1人	1人未満 6人 997人	2人 53人 2,959人	103人 277人 9,840人	1人未満 1人未満 30人	1人未満 1人未満 1人未満	0棟 0棟 0棟
ライフライン被害	上水道被害箇所数 の割合 断水人口(1日) 最大断水日数 下水道管延長の割合 断水人口 最大断水日数	29.6km/9.1箇所 [断水長45.302km] 48,278人 354日 0.78% [断水長24.371km] 35,698人 22日	120.9km/9.1箇所 [断水長5.690km] 2,725人 2日 1.12% [断水長2.210km] 3,271人 5日	120.9km/9.1箇所 [断水長5.690km] 8,198人 1日 0.91% [断水長1.377km] 17,278人 2日	120.9km/9.1箇所 [断水長5.690km] 206人 0日 0.55% [断水長1.203km] 1,097人 2日	120.9km/9.1箇所 [断水長5.690km] 0人 0日 0.49% [断水長1.203km] 1,929人 2日	120.9km/9.1箇所 [断水長5.690km] 0人 0日 0.11% [断水長1.203km] 63人 1日	120.9km/9.1箇所 [断水長5.690km] 0人 0日 0.10% [断水長1.203km] 374人 1日	120.9km/9.1箇所 [断水長5.690km] 0人 0日 0.35% [断水長1.203km] 96人 1日	120.9km/9.1箇所 [断水長5.690km] 50,170人 50,170人 3.64% [断水長2.554km] 4,552人 9日	120.9km/9.1箇所 [断水長5.690km] 68,153人 68,153人 0.47% [断水長2.554km] 1,405人 4日	120.9km/9.1箇所 [断水長5.690km] 305,998人 305,998人 0.07% [断水長2.554km] 4,132人 2日	120.9km/9.1箇所 [断水長5.690km] 351,443人 351,443人 0.00% [断水長2.554km] 1,291人 2日	120.9km/9.1箇所 [断水長5.690km] 0人 0日 0.00% [断水長2.554km] 210人 1日	120.9km/9.1箇所 [断水長5.690km] 0人 0日 0.00% [断水長2.554km] 0人 0日
交通施設被害	主要道路閉鎖箇所 の割合 1次以上道路の不通・通行困難箇所 の割合	34.2km/9.1箇所 [断水長1.2419km] 0.11% [断水長12.065箇所]	22.1km/9.1箇所 [断水長1.374km] 0.00% [断水長1.555箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長1.218箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.773箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.909箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]	17.1km/9.1箇所 [断水長1.340km] 0.00% [断水長0.949箇所]

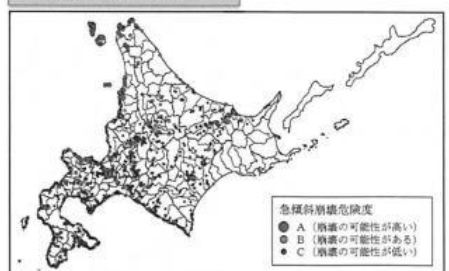
震度分布



液状化発生確率分布



急傾斜地崩壊危険度分布



注：この結果は、中央防災会議などの被害想定手法（過去の地震被害を基に設定した被害発生確率等による）により算出した概数であり、具体的な被害発生箇所を特定するものではありません。

※1 断層モデルは、断層の長さ、深さ、マグニチュード、傾き、破壊パターン等で設定しています。

※2 概略計算の結果からほとんど被害の想定されない地域は、計算対象外（表中は「—」）としています。

※3 道路閉鎖の割合で表中の数値と合計は合わない場合があります。

※4 建物・人口の総数、上下水道・道路の延長、橋梁総数は、市町村などからの提供データに基づく合計数です。

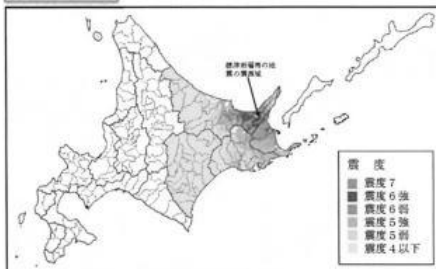
3 地震動による被害想定結果⑪～オホーツク管内で人的被害が最大となる地震

■標津断層帯（モデル30_1）の地震（Mw7.1）※1

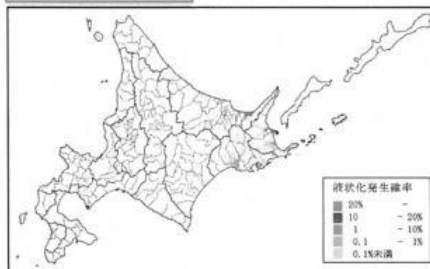
被害の概要（冬の早朝5時）（北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所・地質研究所作成）

被害想定項目	全道	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	樺山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
地震動	震度7(最大)	震度5強	震度5強	震度5強	震度5強	震度6弱	震度5強	震度5強	震度5強	震度5強	震度5強	震度5強	震度5強	震度6弱	震度7
液状化危険度	下図(液状化発生確率分布)による														
急傾斜地崩壊危険度	下図(急傾斜地崩壊危険度分布)による														
建物被害	全壊棟数 1,724棟 半壊棟数 3,235棟											1,656棟 2,713棟	1棟未満 1棟未満	13棟 72棟	55棟 450棟
火災被害	焼失棟数 8棟 [建物総棟数] [484,000棟]											8棟 [152,607棟]	0棟 [175,596棟]	1棟未満 [106,417棟]	1棟未満 [49,380棟]
人的被害	死者数 40人 重軽傷者数 441人 避難者数 19,826人 [総人口] [986,497人]											36人 365人 13,257人 [305,998人]	1人未満 1人未満 2人 [351,443人]	2人 19人 992人 [248,209人]	2人 57人 5,574人 [80,847人]
ライフライン被害	上水道被害箇所数割合 14.6% (9/61箇所) [総延長16,259km] 最大断水日数 53.111日 最大断水人口 174日 下水道被害区長の割合 1.40% [総延長6,213km] 機能支障人口 12,214人 最大断水日数 9日 主要道路閉鎖箇所数割合 27% (9/33箇所) [総延長4,696km]											6.9% (3/44箇所) [総延長4,120km] 30,685人 54日 24% [総延長2,094km] 6,950人 21.3% (7/33箇所) [総延長1,500km]	46.5% (3/6箇所) [総延長7,083km] 0人 0日 0.0% [総延長2,263km] 175人 184.1% (1/1箇所) [総延長1,675km]	4.5% (3/6箇所) [総延長2,228km] 4,121人 5日 1.3% [総延長1,458km] 2,998人 17.4% (1/6箇所) [総延長964km]	4.5% (3/6箇所) [総延長2,228km] 18,305人 174日 3.4% [総延長408km] 2,092人 13.8% (1/7箇所) [総延長521km]
交通施設被害	10%以上の交通の不通・通行困難箇所数割合 0.51% [総延長1,193箇所]											1.1% [総延長1,374箇所]	0.0% [総延長1,700箇所]	0.0% [総延長628箇所]	1.2% [総延長425箇所]

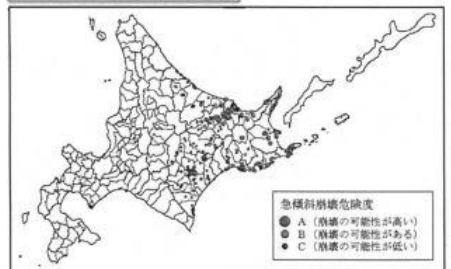
震度分布



液状化発生確率分布



急傾斜地崩壊危険度分布



注：この結果は、中央防災会議などの被害想定手法（過去の地震被害を基に設定した被害発生確率等）により算定した概数であり、具体的な被害発生箇所を特定するものではありません。
 ※1 断層モデルは、断層の長さ、深さ、マグニチュード、傾き、破壊パターン等で設定しています。
 ※2 概略計算の結果からほとんど被害の想定されない地域は、計算対象外（表中は「—」）としています。
 ※3 道路閉鎖の箇所数割合は、道路の総延長と合計は合わない場合があります。
 ※4 建物・人口の総数、上下水道・道路の総延長、機能総数は、市町村などからの提供データに基づく合計値です。

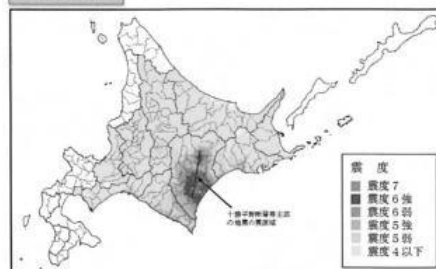
3 地震動による被害想定結果⑫～十勝管内で人的被害が最大となる地震

■十勝平野断層帯主部（モデル45_2）の地震（Mw7.4）※1

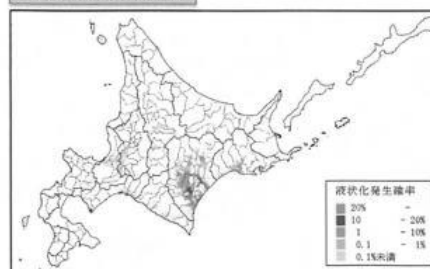
被害の概要（冬の早朝5時）（北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所・地質研究所作成）

被害想定項目	全道	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	樺山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
地震動	震度7(最大)	震度5強	震度5強	震度5強	震度5強	震度6弱	震度5強	震度5強	震度5強	震度5強	震度5強	震度5強	震度7	震度6弱	震度5弱
液状化危険度	下図(液状化発生確率分布)による														
急傾斜地崩壊危険度	下図(急傾斜地崩壊危険度分布)による														
建物被害	全壊棟数 3,370棟 半壊棟数 8,028棟	1棟未満 1棟未満	1棟未満 1棟未満	— —	1棟未満 1棟未満	28棟 106棟	— —	— —	1棟未満 1棟未満	— —	— —	1棟未満 1棟未満	3,336棟 7,888棟	40棟 30棟	0棟 0棟
火災被害	焼失棟数 18棟 [建物総棟数] [1,651,358棟]	1棟未満 [162,359棟]	1棟未満 [564,217棟]	— —	1棟未満 [161,835棟]	1棟未満 [54,888棟]	— —	— —	1棟未満 [224,069棟]	— —	— —	0棟 [152,607棟]	18棟 [175,596棟]	1棟未満 [106,417棟]	0棟 [49,380棟]
人的被害	死者数 73人 重軽傷者数 1,439人 避難者数 62,952人 [総人口] [4,657,413人]	1人未満 1人未満 4人 [311,713人]	1人未満 1人未満 4人 [2,390,832人]	— — — —	1人未満 1人未満 8人 [413,998人]	5人 41人 1,596人 [733,161人]	— — — —	— — — —	1人未満 1人未満 4人 [521,087人]	— — — —	— — — —	1人未満 1,390人 60,670人 [305,998人]	68人 1,390人 60,670人 [351,443人]	1人未満 7人 689人 [248,209人]	0棟 0棟 0棟 [80,847人]
ライフライン被害	上水道被害箇所数割合 7.7% (9/117箇所) [総延長40,947km] 最大断水日数 341日 最大断水人口 341日 下水道被害区長の割合 0.94% [総延長2,178km] 機能支障人口 27,658人 最大断水日数 2日 主要道路閉鎖箇所数割合 37.4% (10/27箇所) [総延長10,638km]	全1箇所未満 [総延長5,690km] 1日 0日 [総延長2,210km] 0.41% [総延長1,377km]	全1箇所未満 [総延長8,802km] 0人 0日 [総延長1,340km] 0.32% [総延長1,340km]	— — — —	全1箇所未満 [総延長3,729km] 1日 1日 [総延長1,181km]	31.2% (1/3箇所) [総延長1,331km] 10日 10日 [総延長497km]	— — — —	— — — —	全1箇所未満 [総延長5,139km] 0人 0日 [総延長2,564km]	— — — —	— — — —	全1箇所未満 [総延長4,120km] 0人 0日 [総延長2,094km]	1.3% (1/7箇所) [総延長2,263km] 341日 4.5% [総延長2,263km]	24.3% (1/4箇所) [総延長2,228km] 1日 1.4% [総延長1,458km]	0.0% (0/0箇所) [総延長408km] 0日 0.0% [総延長521km]
交通施設被害	10%以上の交通の不通・通行困難箇所数割合 0.63% [総延長10,207箇所]	0.00% [総延長1,550箇所]	0.00% [総延長1,218箇所]	— —	0.00% [総延長806箇所]	0.11% [総延長494箇所]	— —	— —	0.00% [総延長1,938箇所]	— —	— —	0.00% [総延長1,374箇所]	3.5% [総延長1,700箇所]	0.02% [総延長628箇所]	0.00% [総延長425箇所]

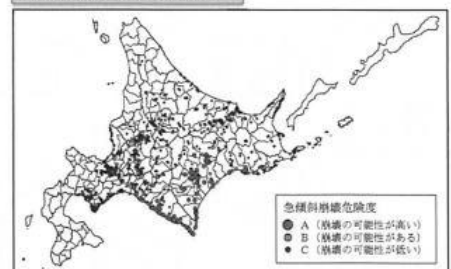
震度分布



液状化発生確率分布



急傾斜地崩壊危険度分布



注：この結果は、中央防災会議などの被害想定手法（過去の地震被害を基に設定した被害発生確率等）により算定した概数であり、具体的な被害発生箇所を特定するものではありません。
 ※1 断層モデルは、断層の長さ、深さ、マグニチュード、傾き、破壊パターン等で設定しています。
 ※2 概略計算の結果からほとんど被害の想定されない地域は、計算対象外（表中は「—」）としています。
 ※3 道路閉鎖の箇所数割合は、道路の総延長と合計は合わない場合があります。
 ※4 建物・人口の総数、上下水道・道路の総延長、機能総数は、市町村などからの提供データに基づく合計値です。

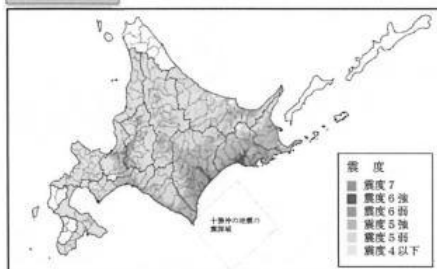
3 地震動による被害想定結果⑬～釧路 日高管内で人的被害が最大となる地震

■十勝沖の地震 (Mw8.2) ※1

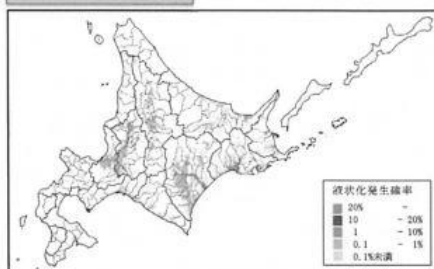
被害の概要 (冬の早朝5時) (北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所・地質研究所作成)

被害想定項目	全道	空知	石狩	後志	釧路	日高	渡島	樺山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
地震動	震度7(最大)	震度6弱	震度6弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度5強	—	震度6弱	震度5強	—	震度6弱	震度6強	震度6強	震度6弱
液状化危険度	下図(液状化発生確率分布)による														
急傾斜地崩壊危険度	下図(急傾斜地崩壊危険度分布)による														
建物被害	全壊棟数 1,063棟	21棟	43棟	6棟	21棟	63棟	10棟	—	5棟	1棟未満	—	18棟	271棟	589棟	17棟
	半壊棟数 6,499棟	334棟	848棟	25棟	183棟	274棟	42棟	—	78棟	5棟	—	183棟	1,674棟	2,566棟	187棟
火災被害	焼失棟数 3棟	1棟未満	1棟未満	1棟未満	1棟未満	1棟未満	1棟未満	—	1棟未満	1棟未満	—	1棟未満	1棟未満	2棟	1棟未満
[建物総棟数]	[1,990,153棟]	[162,359棟]	[564,217棟]	[118,931棟]	[161,835棟]	[54,889棟]	[188,265棟]	—	[224,059棟]	[31,599棟]	—	[152,607棟]	[175,596棟]	[106,417棟]	[49,380棟]
死者数	44人	1人未満	2人	1人未満	2人	9人	1人	—	1人未満	1人未満	—	2人	5人	20人	2人
重軽傷者数	1,416人	40人	221人	9人	58人	84人	13人	—	15人	1人	—	31人	237人	684人	27人
避難者数	93,374人	6,399人	19,263人	236人	5,250人	4,004人	708人	—	1,829人	79人	—	2,923人	22,004人	27,920人	2,759人
[総人口]	[5,366,581人]	[311,713人]	[2,360,832人]	[224,190人]	[413,968人]	[73,316人]	[424,808人]	—	[521,087人]	[50,170人]	—	[305,998人]	[351,443人]	[248,209人]	[80,847人]
上下水道被害箇所数の割合	15.9km ² の1箇所 (総延長47,239km)	22.7km ² の1箇所 (総延長5,690km)	44.6km ² の1箇所 (総延長8,902km)	380.4km ² の1箇所 (総延長2,395km)	29.6km ² の1箇所 (総延長3,726km)	9.7km ² の1箇所 (総延長1,331km)	82.8km ² の1箇所 (総延長2,864km)	—	83.3km ² の1箇所 (総延長5,139km)	226.2km ² の1箇所 (総延長1,102km)	—	50.2km ² の1箇所 (総延長4,123km)	5.6km ² の1箇所 (総延長7,053km)	4.3km ² の1箇所 (総延長2,828km)	11.8km ² の1箇所 (総延長2,228km)
駅人口(1日)	308,225人	21,472人	66,804人	1,094人	19,401人	13,539人	2,293人	—	6,751人	364人	—	9,246人	76,775人	80,237人	10,247人
最大復旧日数	108日	13日	2日	1日	5日	30日	2日	—	2日	2日	—	6日	108日	60日	87日
下水道被害延長の割合	2.02% (総延長25,563km)	2.03% (総延長2,219km)	1.60% (総延長7,377km)	0.69% (総延長1,203km)	2.39% (総延長2,900km)	3.30% (総延長4,746km)	1.51% (総延長2,336km)	—	1.16% (総延長2,554km)	1.51% (総延長2,999km)	—	1.58% (総延長2,084km)	2.71% (総延長2,253km)	6.00% (総延長1,458km)	2.32% (総延長408km)
機能支障人口	90,543人	5,948人	32,399人	1,653人	8,744人	1,886人	5,618人	—	5,382人	636人	—	4,289人	8,191人	14,378人	1,420人
最大復旧日数	15日	8日	3日	3日	7日	12日	5日	—	3日	6日	—	5日	9日	15日	6日
主要道路被害箇所数の割合	16.2km ² の1箇所 (総延長12,843km)	15.3km ² の1箇所 (総延長1,374km)	13.4km ² の1箇所 (総延長1,340km)	33.1km ² の1箇所 (総延長794km)	14.8km ² の1箇所 (総延長1,811km)	14.3km ² の1箇所 (総延長497km)	24.2km ² の1箇所 (総延長1,030km)	—	23.8km ² の1箇所 (総延長1,500km)	18.7km ² の1箇所 (総延長380km)	—	18.9km ² の1箇所 (総延長1,500km)	13.2km ² の1箇所 (総延長954km)	10.5km ² の1箇所 (総延長528km)	10.1km ² の1箇所 (総延長521km)
交通施設被害	15m以上の橋脚の不 通・道路幅員の狭小 の割合	0.43% (総数12,164箇所)	0.23% (総数1,559箇所)	0.29% (総数1,218箇所)	0.00% (総数0箇所)	0.19% (総数909箇所)	0.51% (総数494箇所)	—	0.05% (総数1,938箇所)	0.00% (総数547箇所)	—	0.10% (総数1,374箇所)	1.03% (総数1,765箇所)	2.82% (総数528箇所)	0.62% (総数425箇所)

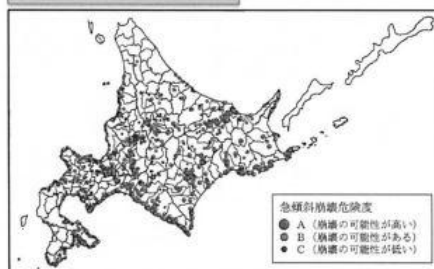
震度分布



液状化発生確率分布



急傾斜地崩壊危険度分布



注: この結果は、中央防災会議などの被害想定手法(過去の地震被害を基に設定した被害発生確率等による)により算出した概数であり、具体的な被害発生箇所を特定するものではありません。

※1 断層モデルは、断層の長さ、深さ、マグニチュード、傾き、破壊パターン等で設定しています。

※2 概数計算の結果からほとんど被害の想定されない地域は、計算対象外(表中は「—」)としています。

※3 施設処理の簡便で表中の数値と合計は合わない場合があります。

※4 建物・人口の総数、上下水道・道路の総延長、機能総数は、市町村などからの提供データに基づく合計値です。

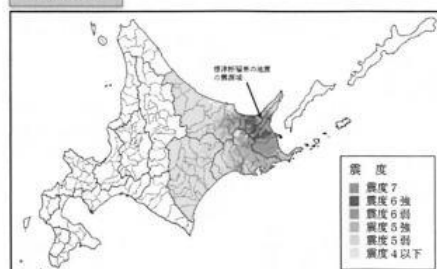
3 地震動による被害想定結果⑭～根室管内で人的被害が最大となる地震

■標準断層帯(モデル45_5)の地震 (Mw7.1) ※1

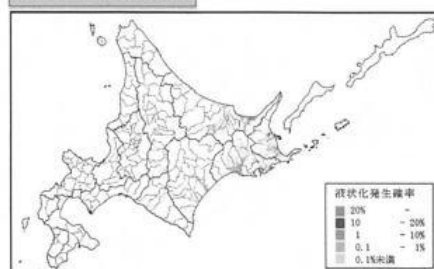
被害の概要 (冬の早朝5時) (北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所・地質研究所作成)

被害想定項目	全道	空知	石狩	後志	釧路	日高	渡島	樺山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
地震動	震度7(最大)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	震度7	震度5強	震度6強	震度6強
液状化危険度	下図(液状化発生確率分布)による														
急傾斜地崩壊危険度	下図(急傾斜地崩壊危険度分布)による														
建物被害	全壊棟数 894棟	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	662棟	1棟未満	18棟	213棟
	半壊棟数 3,184棟	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,898棟	1棟	173棟	1,112棟
火災被害	焼失棟数 4棟	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3棟	1棟未満	1棟未満	1棟未満
[建物総棟数]	[484,000棟]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	[152,607棟]	[175,596棟]	[106,417棟]	[49,380棟]
死者数	18人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13人	1人未満	1人未満	5人
重軽傷者数	485人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	289人	1人未満	26人	170人
避難者数	21,473人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9,349人	3人	3,140人	8,981人
[総人口]	[985,497人]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	[305,998人]	[351,443人]	[248,209人]	[80,847人]
上下水道被害箇所数の割合	10.9km ² の1箇所 (総延長16,259km)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.9km ² の1箇所 (総延長4,120km)	14.9km ² の1箇所 (総延長7,053km)	2.4km ² の1箇所 (総延長2,228km)	2.4km ² の1箇所 (総延長2,228km)
駅人口(1日)	62,560人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23,693人	13人	11,755人	27,699人
最大復旧日数	329日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	39日	1日	15日	329日
下水道被害延長の割合	1.63% (総延長6,213km)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.72% (総延長2,084km)	0.29% (総延長2,253km)	2.15% (総延長1,458km)	5.18% (総延長408km)
機能支障人口	13,634人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4,689人	903人	4,848人	3,194人
最大復旧日数	14日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6日	1日	6日	14日
主要道路被害箇所数の割合	23.8km ² の1箇所 (総延長4,000km)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24.7km ² の1箇所 (総延長1,500km)	59.4km ² の1箇所 (総延長1,675km)	14.1km ² の1箇所 (総延長954km)	13.4km ² の1箇所 (総延長512km)
交通施設被害	15m以上の橋脚の不 通・道路幅員の狭小 の割合	0.68% (総数4,193箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.91% (総数1,374箇所)	0.00% (総数1,765箇所)	0.33% (総数528箇所)	3.29% (総数425箇所)

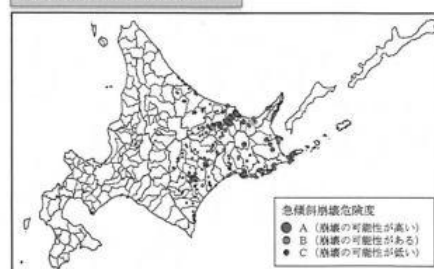
震度分布



液状化発生確率分布



急傾斜地崩壊危険度分布



注: この結果は、中央防災会議などの被害想定手法(過去の地震被害を基に設定した被害発生確率等による)により算出した概数であり、具体的な被害発生箇所を特定するものではありません。

※1 断層モデルは、断層の長さ、深さ、マグニチュード、傾き、破壊パターン等で設定しています。

※2 概数計算の結果からほとんど被害の想定されない地域は、計算対象外(表中は「—」)としています。

※3 施設処理の簡便で表中の数値と合計は合わない場合があります。

※4 建物・人口の総数、上下水道・道路の総延長、機能総数は、市町村などからの提供データに基づく合計値です。